

序

近年、公共職業安定所求職者の高齢化傾向を反映して公共職業訓練施設でも能力再開発訓練受講者の高齢化が進んでいる。わが国が今後本格的高齢化社会へ進む過程で、定年離職者あるいは産業構造の変化等に伴う中高年離職者の一層の増大が予想され、中高年者の雇用促進のために公共職業訓練施設が果たすべき役割は一層高まるものと考えられる。

このような状況の中で能力再開発訓練がその機能を十分発揮してゆくためには、訓練の目標、方法、内容など検討を要する問題が少なくないが、とりわけ、最近の産業別雇用需要の変化に対応した中高年向けの訓練職種の開発は緊急の課題であるといえよう。

当研究センターでは、このような要請に対処するため、昭和54年度に都内の職業紹介機関や一部業界等を対象に聴取調査を行い、その成果の一部を昭和54年9月に「第3次産業訓練職種開発予備調査中間報告」としてとりまとめ公表したところである。その後、本研究をさらに深めるため、学識経験者を委員に委嘱して「第3次産業訓練職種開発研究会」を開催し、業界専門家等からヒヤリングを行うとともに、業界に対する実地聴取調査の実施、雇用の伸びの大きい特定業種に対するアンケート調査の実施等を進めてきたが、今回、これらの作業結果を一応とりまとめ、関係者の参考に供することとした。

本報告は、全体が3部に分かれ、第1部第1章では、中高年者に開かれた第3次産業労働市場の実態を統計的に素描し、合わせて上述のアンケート調査の結果を中心に若干の職種について開発の可能性を評価している。

第2章は、当センターが実施した特定業種に対する人材ニーズに関するアンケート調査の結果報告である。

第2部は、第3次産業職種開発研究会委員の小幡孫三郎（元東京都総合技能開発研究所開発普及課長、現東京都監査事務局副主幹）横山芳郎（神奈川県京浜技能開発センター主任技師、現同県立技能訓練センター主任技師）の両氏を煩わし、東京都および神奈川県における訓練職種開発の経験を取りまとめたものである。

第3部には、第3次産業職種開発研究会で行った業界専門家からのヒヤリングのうち、業界のニーズの動向を知る上で貴重な示唆を含む発表を掲載した。

以上で明らかなように本報告は、多くの関係者の御協力の賜である。特に業務御多忙中、貴重な時間を割いて、研究会に出席し、種々御教示くださった委員各位、御意見を御発表いただいた専門家の方がた、また、アンケート調査に御協力いただいた関係事業主各位に深甚の謝意を表する次第である。それについても、当方の事務処理の不手際から報告書の発表が遅れたことをお詫びして序にかえることとしたい。

昭和57年3月

職業訓練研究センター

基礎研究部長 泉 輝 孝

第3次産業職種開発研究会委員

氏 名	所 属
小 幡 孫三郎	江戸川高等訓練校 訓練課長 (現東京都監査事務局 副主幹)
佐 藤 信 弘	亀戸高等職業訓練校 講 師 (現職業訓練研究センター 客員研究員)
皆 川 甲子郎	芝園橋公共職業安定所 統括職業指導官 (現上野公共職業安定所 統括職業指導官)
八 木 純一郎	労働省職業訓練局指導課 課長補佐 (現兵庫労働基準局 安全課長)
横 山 芳 郎	京浜技能開発センター 主任技師 (現神奈川県立技能訓練センター 主任技師)

研究担当者

基礎研究部長	泉 輝 孝
〃 需要研究室長	安 井 章
〃 需要研究室(元)	足 立 心 一